

第2回 一括研修会を開催しました

7月6日（月）
藤代庁舎大会議室

学校運営協議会の新規の委員さん方を主な対象とした一括研修会、その第2回を実施しました。参加委員は計24名、講師はおなじみの安齋宏之先生です。

主題 デザインしてみよう、地域と学校がともに
築く未来 ～模擬熟議～

内容項目

- 1 学校運営協議会の進め方
- 2 熟議とは
- 3 演習「模擬熟議」に挑戦してみよう！
- 4 熟議を具体的な取り組みへ



熟議とは

「多くの当事者による『熟考』と『議論』を重ねながら課題解決を目指す対話」

◇具体的には

6人程度のグループで、共通した議題について付箋紙等を用いて各自が考えを出し合い、協議していくこと

今回の「模擬熟議」テーマ

- I 「子どもに向き合えない、向き合う時間が足りない要因・原因は何か？」
- II 「子どもに向き合えるようにするためには何ができるか？」



←→

A B
グループ
1 2



←→

C D
グループ
1 2



「子どもに向き合う時間」は、教員の【働き方改革】に関する重要なキーワードです。この「子どもに向き合う時間」をどのように確保するか、余裕をもって教員が子どもたちと触れ合い、子どもたちのためになる授業や指導のあり方を考え、実践するために、「働き方改革」は不可欠の事案です。国や県は、この「働き方改革」に、保護者や地域住民の力を借してほしい、というメッセージを強めています。コミュニティ・スクールを推進する本市でも、地域学校協働活動と「働き方改革」の関係をさらに深めていきたいと考えます。全ては子どもたちのために。

Aグループの主な意見(熟議Ⅱ)

- ◆地域住民のサポートの充実
 - ・地域の見守り、除草などの環境整備、授業のサポートなど「学校の応援団」に。内容によって外部委託も
- ◆保護者の意識改革
 - ・学校の負担を理解、宿題の点検、スマホ利用のあり方
- ◆学校の教育活動の見直し
 - ・行事の精選



Bグループの主な意見(熟議Ⅱ)

- ◆地域住民のサポートの充実
 - ・登下校や休み時間の見守り、除草などの環境整備、給食時の見守り、校外学習のサポート、部活動支援など
- ◆保護者の理解啓発
 - ・学校の多忙さ、家庭教育の役割、学校ボランティアへの協力促進
- ◆中学生による地域ボランティア
- ◆行事プラン、地域安全などの外部委託



Cグループの主な意見(熟議Ⅱ)

- ◆地域住民のサポートの充実
 - ・授業（ゲストティーチャー、授業アシスト、教材教具のメンテナンスなど）
 - ・授業以外（除草、修繕、部活動など）
- ◆事件・事故の予防
 - ・登下校、放課後の見守り（地域住民の他、民生委員や警察・郵便局への依頼）
 - ・ボランティアによる子どもの悩み相談
- ◆地域ボランティアの募集(専門性を生かす)



Dグループの主な意見(熟議Ⅱ)

- ◆地域住民のサポートの充実のために
 - ＜学校＞学校以外が担う業務の確認→地域ボランティアの募集（工夫して）
 - 学校行事等への地域住民の招待
- ◆地域の教育力の強化
 - 公民館や自治会による社会教育の充実、風通しのよい地域づくり
 - 世代を超えた交流、関係づくり
- ◆小中の連携

